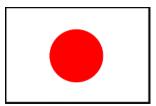
EDU-Port

カンボジア教員養成校における 日本開発デジタル教材を活用した 小学校英語研修(2017-2019) (カンボジア王国)





(株)内田洋行 日本教育工学会 日本福祉大学 影戸 誠

カンボジア教員研修センターと日本をつなぐ、 日本開発デジタル教材を活用した 小学校英語研修と遠隔サポート (カンボジア王国) 2017

カンボジア国内 2 地点と日本をつなぐ、 日本開発デジタル教材を活用した 日本型「指導要領」の実践 (カンボジア王国) 2018-2019

Outline

- ・活動の枠組み
- 教員に対する研修方法
- 学生に対する研修方法
- 日本の国際化・学生ボランティア
- 現地教員、学生を日本に招致
- 日本人不在時 サポートなど 意識継続の方法
- 今後の展望

全体像(2017 度-2019年度)

日本

現地指導

・ボランティアツアー教員・学生



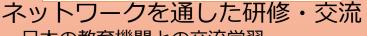
(株) 内田洋行 日本教育工学会

教育環境整備

- ・プロジェクタ
- · PC



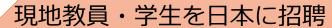
・小学校英語コンテンツ「Switch On」



- ・日本の教育機関との交流学習
- ・プロジェクタの活用、グループワーク等の知見



招聘イベント 6月New Education Expo 8月のWorld Youth Meeting



- ・EduPortの報告
- ・ホームスティプログラム

カンボジア

材を活用 現地での研修を実施(日本のビデオク) プロジェクタ・PCの基本ユニットを7 日本のビデオクリップ英語教室ユニットをフ教室設置し、 国立教員研修センタ

学校

学校

学校

•

主な活動(2017-2019)

- ・現地でのモデル授業の実施
- ・ビデオクリップ 協働学習 (ICT教育)
- ・日本からの支援 (ネットワーク講義・小学校)
- ・現地学生 教育実習での実施・定着 Learner-Centered

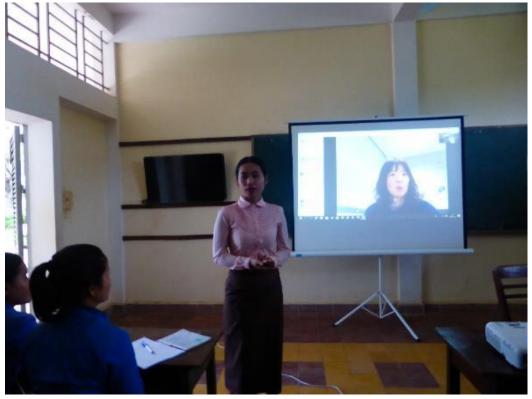




教員研修

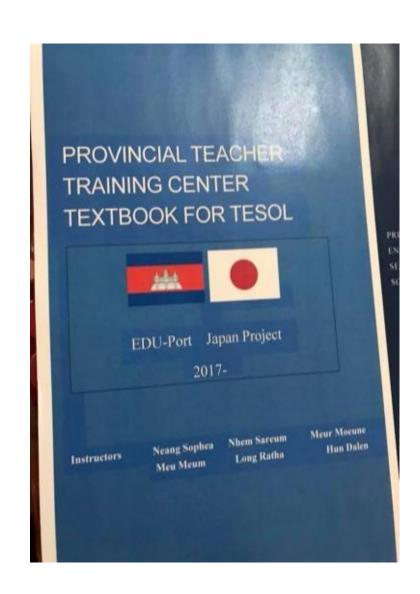
- ・世界の動き Instractional Design
- 日本の動き (対話的な学)
- 大きな方向性を伝える Learner-Centered
- カンボジア教員一日本
- ・軋轢の解消(授業研究)研究者の役割 現地教員の 役割





テキスト協働作成





១. "របៀបប្រើប្រើប្រាស់"វីដេអូឃ្លឹប" នៅក្នុងថ្នាក់វៀនៈ

• 1·How·to·Use·"Video·Clips"·in·Classes₽

1-1-Advantage-of-Video-Clips-

Visual-expression • • video-clips-include-not-only-audio-sounds,-but-alsovisual-elements,-such-as-facial-expressions,-emotions,-and-gestures.-These-areessential-ways-of-self-expression-for-human-beings.--As-for-students,-theseelements-are-tips-to-motivate-them-toward-the-challenge-of-Englishcommunications.-

១-១"អត្ថប្រយោជន៍នៃការប្រើវីដេអូឃ្នឹបៈ

ការសំដែងជារូបភាពរស់រជឹក--

វីដេអូឃ្លីបមិនត្រិមតែមាននូវសំលេងនោះទេតែថែមទាំងមានរូបភាពដូចជាការមានសំដែងជាទម្រង់ទឹក មុខអារម្មណ៍និងកាយវិការ។

クメール語も用意

ទាំងនេះគឺជាការសំដែងចេញមនោសញ្ចេតនាដែលសំខាន់សំរាប់មនុស្សគ្រប់គ្នា 🐶

ហើយចំពោះសិស្សវិញកត្តាទាំងអស់នេះហើយគឺចាំបាច់សំរាប់ជំរុញពក់គេតស្ទិរខំប្រឹងប្រែងយកភាសា រអង់គ្លេសប្រើប្រាស់សំរាប់ទំនាក់ទំនង។

Short Video

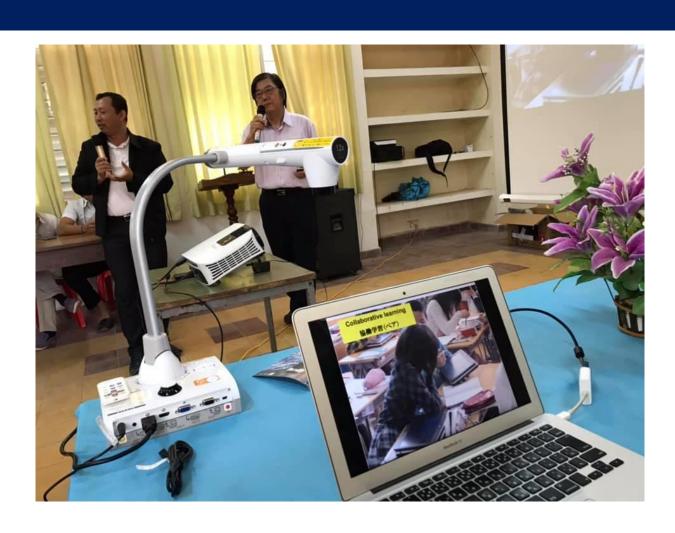
Target Sentences

Interactive Learning

4 BASIC LESSON Sample1 · Way to teach Primary school students



教員研修:日本教育工学会(3,000人)前会長



2019年1月 EDU-PORTの評価会





地域教員へ

(現地教員が講師)

- 現地教員
- 教員研修

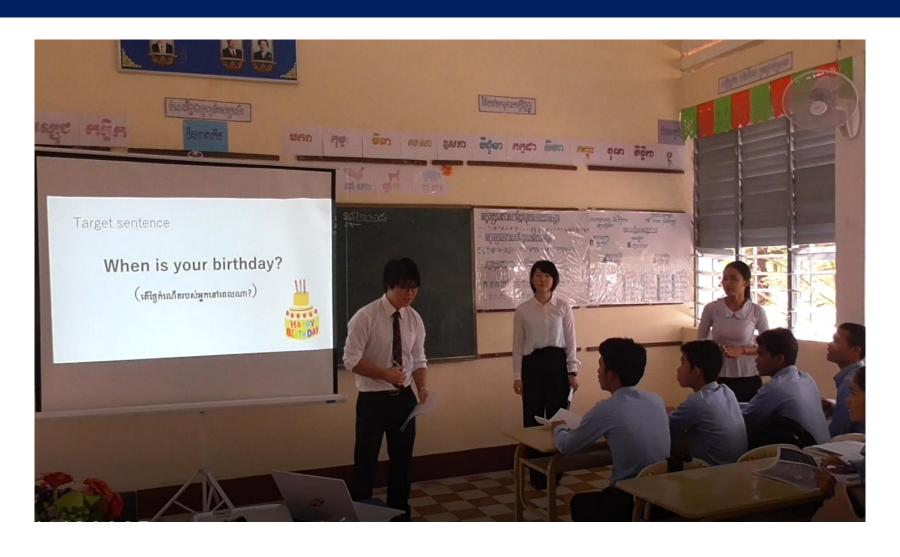
• PPTを提供



学生+現地教員研修回数年30回程度



2年で小学校免許 (200名) 地域で英語活動指導へ



教員研修 (自立化へ)



いいと思えるか やってみたいと思えるか できそうか

• 授業研究の視点から

- Attention
- Relevance
- Confidence
- Satisfaction

・座席に特徴



現場教員のICT活用をサポート グループ学習重視 やってみたくなる研修



モデルの定着



先生の実践を支援 生徒の反応が 先生を支援する



教育実習先で(2月20日)



一音と単語 Phonix



小学校での研修



民主主義の推進

対話的な学び



日本の国際化 学生によるEDU-Port実践発表



(EDU-Portについて英語プレゼンテーション 2019年6月14日)

http://www.kageto.jp/en/3/614miku.mp4



学生の学びを支援(対話的な学び)



- SDGs
- Goal 4
- 途上国を考える
- 民主主義国 日本を知る
- 男女が対話的な学び

クラスに入る 生徒役

発話の促進 音 動き 対話的な学び



学生ボランティア

お互いに英語の使われ方を学ぶ



2018年2か月 2019年1カ月 夏休みもボランティア2019. 08.28



繋がる工夫現地にいない時



日本から支援

- 帰国後 授業研究 提供
- https://youtu.be/r8wEguV6s5s
- 360度カメラからReview

 TTC-JP https://www.facebook.com/groups/486080981863684/

日本での支援日本招致

文部科学省後援行事 New Educational Expoでの講演など 6月、学校訪問(授業参加 日本の生徒と語る)

・文部科学省後援ICT活用イベント ワールドユースミーティングに招聘 (日本学生と協働英語プレゼンテーション)

8月

日本招致 例

(教育家庭新聞 2018. 6月)



「対話的な学びの意義は大きい」と 報告するロング教諭

カンボジアで日本型教育

文科省EDU-Portプロジェクト

"対話的な学び、や板書連携

大臣官房国際課が推進す 「EDU―Portニーデジタル教材を活用

20世代の 3回実践している。 3回実践している。 3回実践している。 2年間で行う。入学倍率 2年間で行う。入学倍率 2年間で行う。入学倍率 2年間で行う。入学倍率 2年間で行う。入学倍率 3回実践している。

対話的な学び」へ

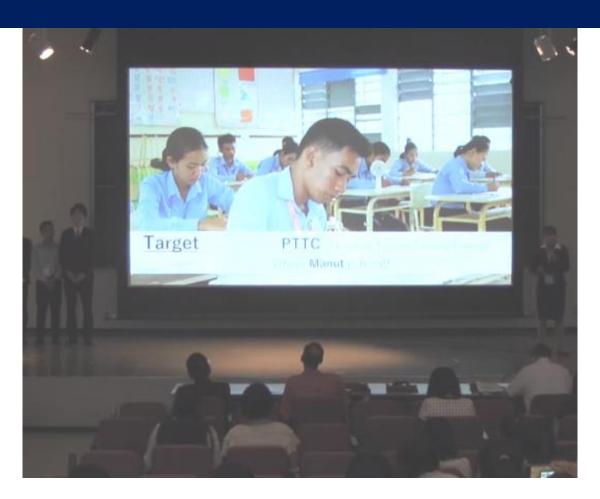
カンボジア教員養成校には日本型を取り入れたは日本型を取り入れたは日本型を取り入れたとは日本型を取り入れたとは日本型を取り入れたとは日本型を取り入れたとして、これまでの、一般業型で一斉指導であってと授業が大きく変わっている。
英語指導法の時間。板英語指導法の時間。板英語指導法の時間。板英語指導法の時間。板英語指導法の時間。板英語指導法の時間。板英語指導法の時間。板



日本の関心を伝える 日本の高校などで授業参加

20回 21回 World Youth Meeting カンボジア学生参加

https://youtu.be/XRmq7W3-cm8



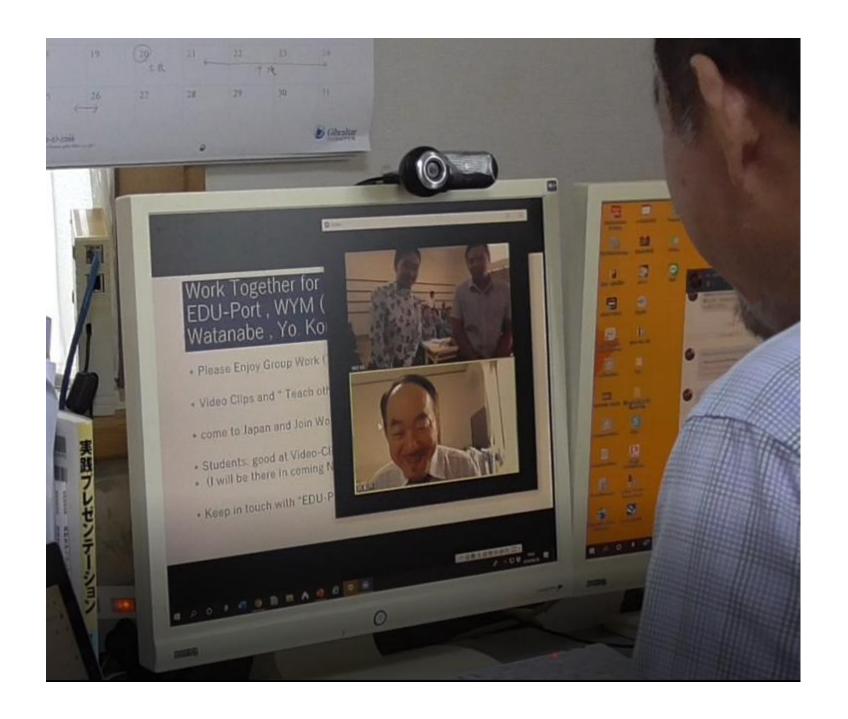
繋がる:教員 の来日 現地 活動を支援 2019.01.12



日常的につながる工夫 2019, 8月26日 日本から講演 ARCSモデル、Learning Pyramid



2019. 08.26 現地へ向け て研修 (ZOOM)



現地からの取り組み報告



FaceBookでつながる



やってみて 言って聞かせてさせてみて

- 定期訪問で関係を構築 (学生間・教員間)
- 教員 学生を デモンストレーションで同時に変える
- 「変わる」 が見える協働実践 (授業研究)
- つながりを常に意識:ネットワーク活用(現地不在時のデザイン)
- 日本招致+現地訪問

今後の展開

定期的な訪問 研究者+学生ボランティア 次回 2019年11月 2020年2月

• 授業研究 (デザイン研究の継続)

• 養成校卒業生支援 (地域小学校支援)

• プノンペン地域への拡大